



四中だより

令和2年 8月 3日
荒川区立第四中学校
学校だより 第3号

本年度、少しでも四中の教育活動を知っていただけるよう、週一回のペースでホームページを更新しています。今号では、ここひと月の間に掲載された記事をご紹介します。

読書体験の楽しさが伝わる、図書館行事になりました。

第6回「ビブリオバトル in 四中」開催！ 7月3日（金）

本校では本年度、

『授業活用や読書啓発活動により、学校図書館活用を推進することで、学習意欲の向上を図る』を、学校経営方針の5つの柱の一つに掲げ、本に触れる機会を大切にしていきたいと考えています。

すでに四中では、これまでの読書活動に取り組んできました。そのひとつが、「ビブリオバトル in 四中」です。「ビブリオバトル（書評合戦）」とは、“バトル”と呼ばれる発表者が自分のおすすめの本を紹介、それを聞いている会場の観覧者“オーディエンス”が一番読みたいと思った本に投票し“チャンプ本”を決める というイベントです。四中ではこれまで5回行ってきましたが、3月からの休校措置で、今年度はまだ行えずにいました。7月に入り、学校の教育活動が徐々に再開していくこととなったことから、通算6回目を開催することにしました。



7月3日（金）、放課後の最終下校時刻までという短い時間のなかでしたが、会場となった学校図書館には、生徒や先生方が集まり、6名は発表者（バトル）による熱い戦いが繰り広げられました。どの発表もプレゼンテーションとしてのレベルも高く、なにより、自分の好きな本を語る姿はとても嬉しそうで、読書体験の楽しさが伝わる発表となりました。結果、白井さんが紹介した「広辞苑 第七版」が見事、チャンプ本に選ばれました。おめでとうございます。

発表順	発表者	著書名	著者	出版社
1	岡安巧夢 3C	神様の御用人	浅葉 なつ	メディアワークス文庫
2	南 龍一 3A	FACT FULNESS	ハズ・トリック 他	日経BP社
3	若林美穂(先生)	往復書簡	湊かなえ	角川
4	稲葉裕之(校長)	空飛ぶ馬	北村 薫	創元推理文庫
5	白井宏宙 2B	広辞苑 第七版	新村 出 編	岩波書店
6	神田紘輝 3A	天使のにもつ	いとう みく	童心社

こうした機会を通して、読書や発表活動に興味や関心を持つきっかけになってくれるといいなと思います。四中の文化的な側面が見られた、有意義な図書館行事となりました。

進路選択の支援も、“新しい生活様式”に対応して

『高校調べ スペース』を設置しました 7月10日（金）

学新型コロナウイルス感染症は、高校入試等の進路関係にも影響が出始めてきています。そのひとつが、高校の学校見学会・入学説明会です。例年、夏休みのこの時期に、中学生とその保護者を対象にした見学会・説明会が、多くの高校で行われます。志望校を決める際に参考になることから、3年生には、興味のある学校や志望したい学校に出向くように、また、2年生にも高校を見学できるいい機会なので勧めたりしてきました。しかし、この度の事態で、こうしたイベントの実施が困難な状況が続いていました。

そうしたなか、ようやく、感染拡大防止に配慮した方法で、再開されはじめました。

例えば、都立高校では、

・動画配信・ビデオ通信サービスの積極的な活用 ・校内見学等は事前予約制にするなどの留意事項に基づき、実施していくことになるようです。

また、私立高校でも、ホームページからの紹介動画配信や見学会の事前予約など、今後同様の対応になるかと思われます。

そこで、そうしたWebを活用した高校に対応できるよう、このたび、職員室前に『高校調べ スペース』を設置しました。生徒が自由に使えるタブレットPCを2台用意、興味のある高校の見学会・説明会の有無を調べたり、そこへの参加の申込みをしたりできるようにしました。学校見学すらなかなかしづらいなど、今年は感染症対策のため、進路についての取り組みも例年どおりにはいかない状況ではありますが、こうした条件を整えるなどして、少しでも、生徒の進路選択の支援を充実させていきたいと考えています。



高校での学び方がイメージでき、進路選択の意識が高まった体験会でした

『高校授業体験』3年生 7月18日（土）

本校の生徒への思いとして、中学生としての今を“幸せ”と、卒業してからの“幸せ”があります。卒業してからの“幸せ”とは、生徒が社会に出てから、その行った先で「社会の一員としてやっていける」ことです。そのために、義務教育を終えた来年の4月からどうやっていくか、これをしっかり決めてくることが、3年生にとっての今の課題です。そのための支援として、今回、高校の先生方に来校いただき、3年生が高校の模擬授業を実際に体験する取り組み＝『高校授業体験』を、土曜授業日の7月18日（土）に実施しました。

これにより、高校の授業のイメージをつかみながら、

- ・高校へいったら自分はどうしたいのか（進学意思の確認）
- ・どんな進路・高校が自分に向いているか（進路選択）
- ・そのためには、今、どんな勉強を（内容）、どんなふうに（学び方）しなければならないか

など、進路選択の意識を高めてもらうことをめざしています。

当日は、各都立高校の先生方に、次のような授業を行っていただきました。

家庭・福祉高等学校（仮称）	身体の不自由な方を手助けの仕方を学ぼう （介助者・被介助者の体験学習）
葛飾総合高等学校	将来を見据えて、自分の時間割をつくろう （キャリア形成を意識した、科目登録体験）
蔵前工業高等学校	建築に関わる様々な仕事を知ろう （一級建築士が教える住宅設計体験）
葛飾商業高等学校	社会人としての基本を身につけよう （ビジネスコミュニケーションスキルの基礎体験）
千早高等学校	英語によるコミュニケーション能力を実際に使ってみよう （Zoomを使ったアメリカの学生との交流体験）
竹台高等学校	身近な遊びから、トポロジーの基礎を学ぼう （折り紙を使った、正多面体の性質の調べ学習体験）
産業技術高等専門学校	医療機器に触れてみよう （医療機器の開発・研究の現場体験）

どの授業も、中学生向けにアレンジしながらも、レベルの高い内容でしたが、3年生は真剣に話を聞きながら、授業に参加していて、充実した体験授業となりました。授業後は、各クラスで報告会が行われ、学んだことをお互いに共有することができました。これを、今後の進路選択に活かして欲しいと思います。ご協力いただきました高校の先生方、ありがとうございました。



【介助者・被介助者となって体験してみました】



【医療機器の実験機材を実際に使ってみました】



【科目選択をとおして、キャリアデザインを学びました】



【リアルタイムで、海外と英語で交流しました】

書清掃活動も“新しい生活様式”で

SC＝サイレント・クリーン活動、始めます！ 6月29日（月）

新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、生徒の活動も徐々に再開しています。

そのなかで、新たな取り組みとして、サイレント・クリーン活動（略してSC）を行うことにいたしました。従来から、私語等を一切せずに無言で行う清掃活動の取り組み＝「無言清掃」は全国各地で行われてきました。これは、静かに集中して作業に取り組むことを主眼に置いたものですが、今回の新型コロナウイルス感染予防の視点からみても有効な対策になると考え、ネーミングを変えて本校でも導入することにしました。実際やってみると、丁寧で効率よく掃除しようという気持ちに自然となれ、感染予防にも役立つという、一石二鳥といえるものでした。



7月1日の1年C組では、掃き掃除や雑巾がけを一行になつて整然と流れるように行うなど、それは見事なものでした。無言であっても、一人一人が自分の役割をしっかりと意識していれば、このようにできるのだなあと感じました。はじめばかりで、全校的にはまだ定着したとはいえませんが、これが四中の新たな文化のひとつとなってくれることを期待しています。そのためにも、生徒のみなさんには、清掃時間帯では、下校や部活動へ移動する際に騒がしくならないような心遣いもお願いします。

こうした、感染防止に繋がる、日常のちょっとした行動の工夫を、これからも取り入れていきたいと思ひます。

8月の行事

日	曜		日	曜	
1	土		16	日	
2	日		17	月	三者面談(3)(D)始、補充教室始
3	月	⑤区学力調査【国】	18	火	
4	火	⑤区学力調査【数】	19	水	
5	水	⑤区学力調査【英】	20	木	
6	木	大掃除	21	金	三者面談(3)(D)終、補充教室終
7	金	一学期終業式、安全指導	22	土	
8	土	夏季休業日始	23	日	
9	日		24	月	二学期始業式
10	月	山の日	25	火	
11	火	教育活動休止日	26	水	荒教研
12	水	教育活動休止日	27	木	内科検診(3)
13	木	教育活動休止日	28	金	
14	金	教育活動休止日	29	土	
15	土		30	日	
◎…四中寺子屋			31	月	